

日タイ修好120周年・観光交流年2007

プミポン・アドウンヤデート国王陛下生誕80年



今日80歳を迎えられたタイの名君プミポン国王

日系企業が7000社も進出しているタイは、日本の東南アジアでのモノづくりの拠点国と言える。貿易、観光、文化などでも日本との間に深く大きな関係がある。今年「日タイ修好120周年」という記念すべき年に当たる。さらに今日、12月5日は名君の普れ高いタイのプミポン国王の80歳の誕生日というように、ほいほいで、タイでは国を挙げた盛大な祝賀行事が展開されている。

日本は、東南アジアで 国花であるピンクの桜、はタイとの間で最初の外交関係をつないでいる。そのライチャブルクを半々では120年前の1887年にデザインした日タイ修好宣言調印だった。そして120周年の今年、西国政府では日本の...

日本企業を重視するタイ政府

去る11月から、日本タイ経済連携協定(JTEPA)もスタートした。タイのコシット副首相兼工業大臣は先のセミナーで、JBTC(国際協力銀行)が最近タイの中小企業育成のための融資を決めたことはEPA(経済連携協定)の幸先良いスタートだ、と語り、中小企業育成に力を入れた方針を明らかにした。

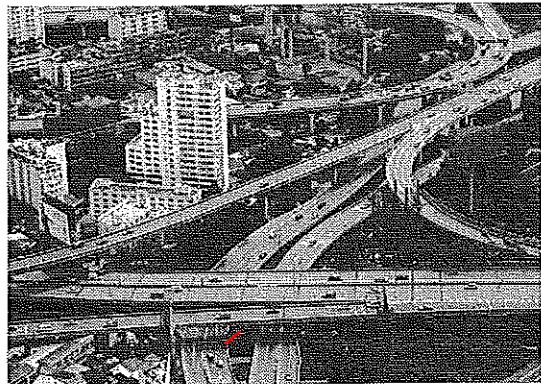
阪和興業は早くも72年からタイに進出し、鉄鋼、非鉄から食品、木材機械など広い分野の製品を扱っている。遠藤製作所も89年にバンコクに法人を構え、ゴルフのティーン、ステンレス製品、金型、鋳造部品など、タイでの事業を拡張している。金属プレス部品加工の三進製作所新工場もタイに進出し、タイの日系大手を顧客に健闘している。

タイ人の上級技術者の育成に大きく寄与できる「泰日工業大学」(TNI)も今年6月に開校、タイで操業する日系企業では卒業生の活躍に大きな期待をしている。70年代から日本と協力し、日本への留学、技術研修などの経験をもっているタイ人が中心になって活動してきたバンコクの泰日経済技術振興協会(TPAA)が母体となって設立された大学で、自動車関連などの学科のほかに修士課程もあり、日本の経済産業省も協力している。

タイは90年代に入ってから、産業高度化や自動車などの産業集積を進めるために、金型などに代表される日本の中小企業の誘致がタイの産業の競争力強化につながると優遇して誘致してきた。最近では、省エネ自動車に代表されるように、環境に優しい産業の育成にも力を入れている。

大田テクノパーク(OTP)に2棟目を着工

バンコク都心部から車で1時間ほどのところにある、タイを代表する工業団地であるチョンブリー県アマタ・ナコーン工業団地内に「大田テクノパーク(OTP)」がある。OTPは320平方メートルが8区画あり、その3区画を東京大田区で技術力が高い中小企業として知られる南武のタイ法人であるナンブ・シル(NAMBU CYL)タイランド社が使っている。金型用中子抜き油圧シリンダーは「南武規格」として世界標準にもなるほど知られ金型用シリンダーで世界的なトップメーカー。OTPにはこれまで、南武のほか4社の大田区の中小企業が入居し、満杯になっていたが、すぐ裏の隣接地に2棟目の工場棟がこのほど着工し



これまでのタイの投資を促している。

タイ投資セミナー 盛大に開催

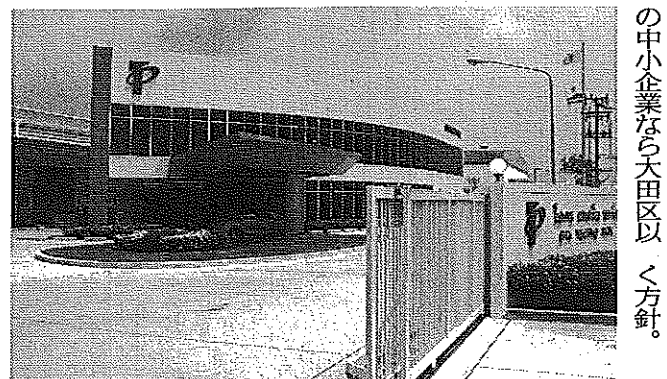
日タイ修好120周年記念事業のひとつ、「日タイ産業協力の今後」をテーマにした投資セミナーがタイ政府投資委員会(BOI)や国際機関日本アセアンセンターなどの共催で11月15日(木)、東京のホテルで盛大に開催された。



東京で開かれたBOIの投資セミナー

タイ人の上級技術者の育成に大きく寄与できる「泰日工業大学」(TNI)も今年6月に開校、タイで操業する日系企業では卒業生の活躍に大きな期待をしている。70年代から日本と協力し、日本への留学、技術研修などの経験をもっているタイ人が中心になって活動してきたバンコクの泰日経済技術振興協会(TPAA)が母体となって設立された大学で、自動車関連などの学科のほかに修士課程もあり、日本の経済産業省も協力している。

道路インフラが日本より進んでいるタイ(バンコクの高速度道路) 奨励政策のシユしたプラサ合意期推移を見る(86年-91年)④タイ国内と、①外貨での部品調達率を高めるための周辺産業育成期(92年-96年)⑤経済危機抑制期(97年-01年)⑥競争力増強期(02年-06年)57年-71年)に分けられる。そして06年9月以降の暫定政権下、07年は各国からのタイ投資には陰りが見えつつ、日本企業へのタイ投資はトップを続ける日本企業がタイにラッ



この第2棟には日本外の企業も受け入れて行く方針。

OTPは06年6月26日にスリヤ副首相(当時)や、アマタ・ナコーン工業団地への供給が半々だった。タイでの部品加工では日本から鉄鋼材や黄銅棒などをタイに輸入し、タイで加工した部品の全量を日本に送り返している。